

# 第19回 千葉県中学生創造ものづくり教育フェア

## 「木工チャレンジコンテスト」実施要項

### 1 目的

○中学校技術・家庭科技術分野では、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指し、現代社会で活用されている技術の基礎的な知識及び技能を習得し、これを活用した技術による問題解決に取り組んでいる。木工チャレンジコンテストは、中学校技術・家庭科技術分野で学習した成果を発揮する場として、生徒の身近な生活から見いだした問題を、木材を中心とした材料を利用して、よりよく解決する製品を設計・製作し、完成したもののプレゼンテーションを通して評価するとともに、ものづくりの技術を考える交流を通して、広く社会に貢献する人材を育成することを目的とする。

2 開催日 令和5年11月11日(土)

3 会場 千葉県総合教育センター 千葉市美浜区若葉2丁目

4 参加費 無料

5 課題 板材を活用して、生活や社会の問題を木材加工の技術により解決できる作品を設計・製作すること。(構想作品の例：高齢者又は幼児のための作品、学校又は家庭で役立つ作品など)

### 6 材料

(1) 板 材：木材 1200mm × 210mm × 15mm 以内 (競技者自身で用意)

(2) 釘：長さ、材質は競技者が選択 (競技者で用意)

(3) 接着剤：酢酸ビニル樹脂系接着剤(木工用接着剤) (競技者で用意)

### 7 競技内容・審査内容

(1) 競技者が用意した材料から課題作品を設計・製作し、その完成度を評価する。(構想図例と同じ構造の条件とする。寸法は競技者が決める。接合部とつぶし釘の工夫は可とする)

(2) 製作時間は180分以内とする。

(3) 作品を提示し、使用目的、使用方法、工夫点、自己PR等のプレゼンテーションを行う。

プレゼンテーション時間：2分以内 ※審査員からの質問は別

※プレゼンテーションでは、作品のほかに、説明用ポスターとして紙やプレゼンテーションスライド2枚以内を用いて発表することができる。ただし、スライドにアニメーション機能は使用しないこと。スクリーン及びプロジェクターは、運営側で用意する。(パソコンを使用する場合は、競技者側で用意する。(HDMI接続のできるパソコン))

(4) 評価については、「令和5年度千葉県中学生創造ものづくり教育フェア『木工チャレンジコンテスト』評価の観点」(別紙)に準じて行う。

## 8 使用工具等 (競技者が用意する)

・基本となる工具等

さしがね、両刃のこぎり、平かんな、釘抜き、げんのう、四つ目ぎり、釘しめ、削り台、紙やすり、ぞうきん1枚、バケツ1個、鉛筆、消しゴム、のみ

・必要に応じて使用する事ができる工具等。

けびき、直角定規、コンパス、はたがね、クランプ、クランプ用の捨て板、木工用やすり、鉛筆削り、金床

**※木工作機器は使用しない。**

## 9 提出物について

(1) 提出物 : 製作品、構想図、材料取り図、CD

①構想図は、等角図または第三角法による投影図で作成する。

②構想図と材料取り図は別紙様式を使用すること。(寸法を記入する)

③CDの内容

作業の様子の写真データ (各場面2枚)

各場面: 尺金によるけがき、両刃のこぎりによる切断、かんながけ、組み立て

(2) 提出方法: 当日、会場に(1)の4点を持ち込み

(3) 提出日: 令和5年11月11日(土)

## 10 その他

- ・千葉県内の中学生であれば誰でもエントリーすることができる。(出場は輪番制を基本とする)
- ・材料費は、大会本部からは負担しない。
- ・3位までを表彰する。また、この3名が上位の者から順に全国中学生創造ものづくり教育フェア「木工チャレンジコンテスト」への応募資格を得るものとする。
- ・本大会についての問い合わせは、下記までお願いします。

袖ヶ浦市立昭和中学校 教諭 金井 裕弥

〒299-0257 袖ヶ浦市神納3204 TEL: 0438-62-2034 FAX: 0438-62-4247

## 「木工チャレンジコンテスト」出場輪番制について

「木工チャレンジコンテスト」にエントリーする生徒が少なく、県知事賞との兼ね合いが毎年、懸念される。県内各校の題材で、木材加工を取り上げる学校が多いと考え、より裾野を広げるということで、以下の提案を行う。

※県知事賞には8名以上のエントリーが必要

### 出場の輪番制

- (1) 県内を2つに分け、輪番で支部より最低でも1名の生徒を参加させるようにする。
  - (2) 該当年度でなくても、参加を希望する学校はエントリーできる。
  - (3) 支部内での参加校の決定は、支部理事に一任する。
  - (4) 支部内で参加希望者がいない場合は、支部理事あるいは支部事務局長の学校から責任をもって参加させる。
- ※支部内でも輪番制を採用するなど工夫し、欠員は避ける。

| 支部名 | H 3 0 | R 1 | 2  | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|-----|-------|-----|----|---|---|---|---|---|
| 千 葉 |       | ○   | 中止 |   |   | ○ |   | ○ |
| 市 原 |       | ○   |    |   |   | ○ |   | ○ |
| 習志野 |       | ○   |    |   |   | ○ |   | ○ |
| 八千代 |       | ○   |    |   |   | ○ |   | ○ |
| 船 橋 |       | ○   |    |   |   | ○ |   | ○ |
| 市 川 |       | ○   |    |   |   | ○ |   | ○ |
| 浦 安 |       | ○   |    |   |   | ○ |   | ○ |
| 東 葛 |       | ○   |    | ○ |   | ○ |   | ○ |
| 印 旛 | ○     |     |    |   | ○ |   | ○ |   |
| 香 取 | ○     |     |    |   | ○ |   | ○ |   |
| 東 総 | ○     |     |    |   | ○ |   | ○ |   |
| 山 武 | ○     |     |    |   | ○ |   | ○ |   |
| 長 生 | ○     |     |    | ○ | ○ |   | ○ |   |
| 夷 隅 | ○     |     |    |   | ○ |   | ○ |   |
| 安 房 | ○     |     |    |   | ○ |   | ○ |   |
| 君 津 | ○     |     |    |   | ○ |   | ○ |   |

※R 3は、オープン参加

第19回千葉県中学生創造ものづくり教育フェア  
「木工チャレンジコンテスト」部門

課題競技の評価の観点（評価の方法、評価方式による総合評価）

評価の観点は以下のA～Dの4項目とする。

**A 関心・意欲・態度（製作中・プレゼンの態度）**

- (1) 安全に留意して作業を進めているか。
- (2) 工具や材料を丁寧に扱っているか。
- (3) 後片づけや整理整頓が行われているか。
- (4) わかりやすく説明ができているか。

※作業中の写真及びプレゼンで評価する。

**B 創意工夫（作品の創意工夫）**

- (1) 使用目的に応じたデザイン・接合方法に創意工夫が見られるか。
- (2) 材料を過不足なく有効・合理的に使用しているか。
- (3) 製作の過程で創意工夫が見られるか。

※作品及びプレゼンで評価する。

**C 知識技能（材料の固定、工具の持ち方、作業身体動作など工具の合理的な使用に関する知識と技能）**

- (1) さしがねの使用に関する知識と技能を習得しているか。
- (2) のこぎりの使用に関する知識と技能を習得しているか。
- (3) かんなの使用に関する知識と技能を習得しているか。
- (4) げんのうの使用に関する知識と技能を習得しているか。
- (5) その他の工具の使用に関する知識と技能を習得しているか。

※作業中の写真で評価する

**D 作品の精度（作品の仕上がり精度、材料の使用法）**

- (1) 部材の寸法が正しく、接合面の目違いがないか。
- (2) 作品の角度は正しいか。
- (3) 表面がきれいに仕上がっているか。（端欠け、釘の突出、げんのうによる打撃痕等）
- (4) 各部材の合理的な使用がなされているか。（木目による繊維方向等）

※作品で評価する

**備考**

- 1 各項目の合計で順位を決める。
- 2 時間延長は減点をする。15分ごとに10点の減点とする。  
（プレゼン時に報告）

# 全国中学生創造ものづくり教育フェア「木工チャレンジコンテスト」への出場について

1 課 題 「全国中学生創造ものづくり教育フェア」要項を参照してください

2 参加資格 各中学校から1名まで(直接全国1次予選へ参加。県・関東予選なし)

3 提出物と締切

(1) 1次作品募集・審査(令和5年11月17日締切)

- ・作品及び製作ビデオ、構想図(等角図又は第3角法による正投影図)、問題解決レポート、材料取り図、工程表、応諾書、

※1次審査の結果は12月上旬に連絡する。

(2) 全国大会出場決定生徒の事前提出物(令和6年1月10日必着)

- ・出場生徒プロフィール用紙、顔写真データ、作業している写真データ

4 全国大会

(1) 実施日 令和6年1月20日

(2) 会 場 競技者：各所属中学校 リモート開催

(3) 競技内容

プレゼンテーション及び自己PR









